

食品を大切に：市場一体となって
生ごみの減量化をはじめとした
「環境型社会」に挑戦

～日本一美しい市場を目指す～



長野地方卸売市場
長野卸売市場協同組合

日本一美しい市場への挑戦

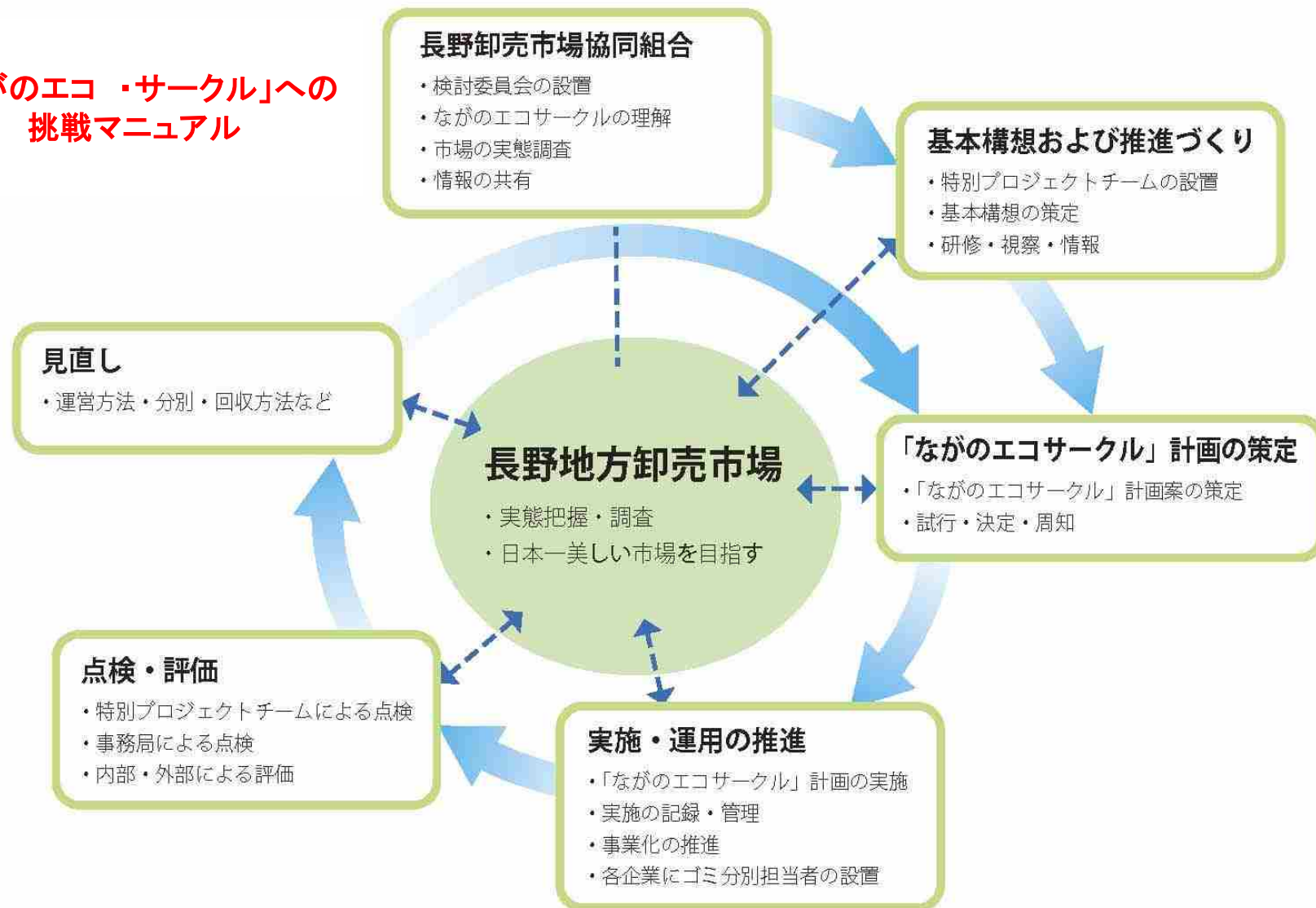
1. 活動の背景

長野地方卸売市場は民設民営の市場ということもあり「食品を扱っている市場としては、あまりにごみが散乱していて汚い。何とかならないのか」という声が入場企業の中からありました。また、社会全体としても「循環型社会」を求める時代背景の中で、清潔で美しい市場を実現する機運が高まっておりました。そんな折に、長野市では、平成9年より「ながのエコ・サークル」活動の取り組みが始まり、この運動に長野地方卸売市場及び長野卸売市場協同組合も参加することとなりました。

長野市場「ながのエコ・サークル」活動の考え方

環境問題への取り組みに当たっては、ゴミの分別処理・回収を基本に、ゴミの減量およびリサイクルに向け、さらには市場全体のゼロエミッションへと毎年ステップ・バイ・ステップし、継続的に高めていく。

「ながのエコ・サークル」への 挑戦マニュアル



2. 活動のスタート

まず『**日本一美しい市場を目指す**』というスローガンを掲げました。長野市場が大小様々な規模の企業が 80社近く集まった集合体であり、意識の統一をはかることは、この活動の成功にとって、とても大切なことだからです。長野市場ほどの規模のグループでは、ともすれば「自分一人ぐらいなら大丈夫」とか「私だけじゃないから」といった甘えが、すべてを台無しにすることに繋がります。

『日本一美しい市場を目指す』というスローガンに向かって、当市場で働くすべての人が共通の意識を持ってごみの削減に取り組むことから始めました。

事務局として真っ先におこなった4つ取組について

- ① 長野地方卸売市場から排出しているごみの量と
内容の詳細を実態調査
- ② 5社が出入りしていたごみ処理回収業者を1社に絞り込む
- ③ 長野地方卸売市場独自に廃棄物分別回収のルール化
- ④ 数量把握のために大型計量器の設置

上記4つの作業が進んだ時点で、

長野市の「ながのエコ・サークル」への挑戦が始まりました。

長野市の「ながのエコ・サークル」事業展開に向けての3つのポイント

①ごみ減量部門

- ・事務用紙などの使用量の抑制
- ・生ごみの減量化の促進

②リサイクル部門

- ・「長野市場廃棄物分別表」の徹底
- ・ゼロエミッションへの挑戦

③意識啓発部門

- ・環境問題に係わる、研修会・講習会・視察等の開催
- ・市場内一斉清掃の実施
- ・会社周辺・駐車場の清掃
- ・エコ・サークル特別プロジェクトチームの発足
- ・アイドリングストップ運動の展開

実際の取り組みにおいては、「挑戦マニュアル」に基づいて、計画→実施→評価→見直しを繰り返し、問題点を見直すことで、ステップ・バイ・ステップに改善をはかることをおこないました。

事業内容

平成15年からの取り組み（11事業）

1. 事務用紙等使用量の抑制
2. 生ごみ減量化の促進
3. 長野市場廃棄物分別の統一化と促進
4. ゼロエミッションへの挑戦
5. 紙類分別による再生紙トイレトペーパーの還元
6. エコ・マーク商品など環境保全型商品の共同購入の促進
7. 環境問題にかかわる研修会・講演会・視察等の開催
8. 市場内一斉清掃の実施
9. 会社周辺・駐車場の清掃実施
10. エコ・サークル特別プロジェクトチームの発足
11. アイドリングストップ運動の展開

平成15年以降に始めた取り組み（7事業）

1. 公園内の清掃実施（平成 18年～）
2. 市場内での「禁煙運動」の展開（平成 19年～）
3. フォークリフトゼロ災害実践活動の展開（平成 21年～）
4. 堆肥工場の設置（平成 22年～）
5. 市場内道路の「落ち葉」（平成 24年～）
6. 太陽光エネルギー利用の促進（平成25年～）
7. オリジナル再生トイレトペーパーの開発・商品化（平成27年～）

各種啓発ポスター

長野市場

エコ・サークル宣言

私たちは、食品流通産業に携わるものとして自ら律して行動するとともに地域や会社と連携しながら地球環境の保全に努めます。

— スローガン —

日本一美しい長野市場を目指す！

— 推進目標 —

1 ごみ減量部門

事務用紙等の使用量の抑制
生ゴミの減量化の促進

2 リサイクル部門

「長野市場廃棄物分別表」の徹底
ゼロエミッションへの挑戦

3 意識啓発部門

環境問題に係わる、研修会・講習会・視察等の開催
市場内一斉清掃の実施
会社周辺・駐車場の清掃
エコ・サークル特別プロジェクトチームの発足
アイドリングストップ運動の展開

長野市場廃棄物分別収集表

I 一般廃棄物の取扱い

可燃物(リサイクルカート使用)

品名	対象廃棄物
売場内ごみ	野菜類、果実類、木屑、残飯、紙屑、汚れた弁当容器、汚れたカップめん容器、資源にならない燃えるもの
オフィスごみ	資源にならない紙類(新聞紙、カーボン紙)、お茶がら等
生ごみ	畜産等からの生ごみ、雑草等
事業産廃物	以上はリサイクルカートを使用する 野菜・果実・肉等の多量廃棄する廃品 透明なごみ袋に入れて搬入する
収集方法	①収集日…市廃棄日を除く毎週日 ②収集方法…各企業の指定ごみ置き場へ業者が巡回し収集 ③事業処理…収集計画書に基づき月末に処理する

I 一般廃棄物の取扱い

ビン・缶類資源物

品名	対象廃棄物
ビン類	透明白色、茶色、その他の色の飲料ビン 色別ビン専用コンテナで3分別で保管 キャップは金属製プラスチックで分別
缶類	①収集日…毎月1回第1土曜日 ②収集方法…各企業の指定ごみ置き場へ業者が巡回し収集 ③事業処理…収集の都合で引取依頼を発行し月末に処理する
缶類	飲料缶、缶詰缶、農薬缶、一斗缶等 カセットボンベ、スプレー缶等は穴を開ける (スチロール・アルミの区別は行わないが中身は完全に抜いてあるもの)
収集方法	①収集日…毎月1回第2土曜日透明ナイロン袋に入れる ②収集方法…各企業の指定ごみ置き場へ業者が巡回し収集 ③事業処理…収集の都合で引取依頼を発行し月末に処理する

I 一般廃棄物の取扱い

紙資源物

品名	対象廃棄物
ダンボール箱	流通用ダンボール箱等折り畳んで大きさをそろえて、20cm くらいの厚さにして十の字で結束する
新聞	通い張、20cmくらいの厚さにして十の字で結束する
雑誌	通い張、20cmくらいの厚さにして十の字で結束する
その他古紙	通い張、20cmくらいの厚さにして十の字で結束する、 (パンフレット、会議用資料、OA用紙、カタログ等)
収集方法	①収集日…ダンボールは市廃棄日を除く毎週日 その他の毎月1回第3週の土曜日 ②収集方法…各企業の指定ごみ置き場へ業者が巡回し収集 ③事業処理…燃料収集、排出物の発生、収集数量に応じて 給油ヘッドレイトペーパーの還元

(注)多量に発生した場合は連絡をしてください。
不明な点、困ったことがあったときは連絡ください。

市場事務局 ☎026-286-2000
直富商事株式会社 ☎026-222-1884

II 産業廃棄物の取扱い

プラスチック資源物(直行用マニフェスト使用)

品名	対象廃棄物
PPバンド	可燃ゴミの中に入れていたプラスチック類(石油製品) 分別するが少なければ全部その都度プラスチックで一緒に の袋に入れて出す 透明なナイロン袋に入れる
ラップ	
農業用 バックリ その他のソフト プラスチック	
ペットボトル	キャップ、ラベルを取り外すをすぐ キャップ、ラベルはその都度プラスチックにいれる 水分を乾かす透明なナイロン袋に入れる
スチロールトレイ	白身トレイに貼る、その他のトレイはその都度のプラスチックへ ごみを取り除き透明なナイロン袋に入れる
収集方法	①収集日…毎月第1、第3週日収集 ②収集方法…各企業の指定ごみ置き場へ業者が巡回し収集 ③事業処理…マニフェスト伝票を発行し月末に処理する

品名	対象廃棄物
スチロール	ごみを取り除き、1.5mの長さで1束とする 4束で1束とする 1m ³ =5kg
収集方法	①処理受付日…日曜日を除く毎週日受け入れ ②収集方法…業者の事務所へ持ち込みください ③事業処理…マニフェスト伝票を発行し月末に処理する

II 産業廃棄物の取扱い

埋立(直行用マニフェスト使用)

品名	対象廃棄物
ガラス 陶磁器類	瓶ガラス、コップ、蓋戸、蓋戸、化粧ビン等のリサイクル出 来ないガラス、陶磁器類
収集方法	①収集日…年に3回収集(収集日事前連絡) ②収集方法…収集日に各企業の指定ごみ置き場へ出して いただき業者が巡回し収集 ③事業処理…マニフェスト伝票を発行し処理する

II 産業廃棄物の取扱い

別会社処理(積荷保管用マニフェスト使用)

品名	対象廃棄物
蛍光灯	燃え切ったものを20本くらいで箱でまとめて保管する
乾電池	乾電池用コンテナにいれ燃え切ったように保管する
収集方法	①収集日…年に2回収集(収集日事前連絡) ②収集方法…収集日に各企業の指定ごみ置き場へ出して いただき業者が巡回し収集 ③事業処理…マニフェスト伝票を発行し処理する

II 産業廃棄物の取扱い

その他産業廃棄物の取扱い(直行用マニフェスト使用)

品名	対象廃棄物
暖房系 プラスチック類	タマゴやリム等の暖房用、プラスチックコンテナ、タイヤ、 農業用ビニール、色紙ゴム等のプラスチック製品
廃棄物	机、イス、パソコン、コピー機、書籍等の廃棄品類 ごみ
収集方法	①収集日…毎週日収集 ②収集方法…毎月第1回指定日に指定場所へ収集 ③事業処理…マニフェスト伝票を発行し処理する

各企業の事務所や売り場でのごみ分別を徹底

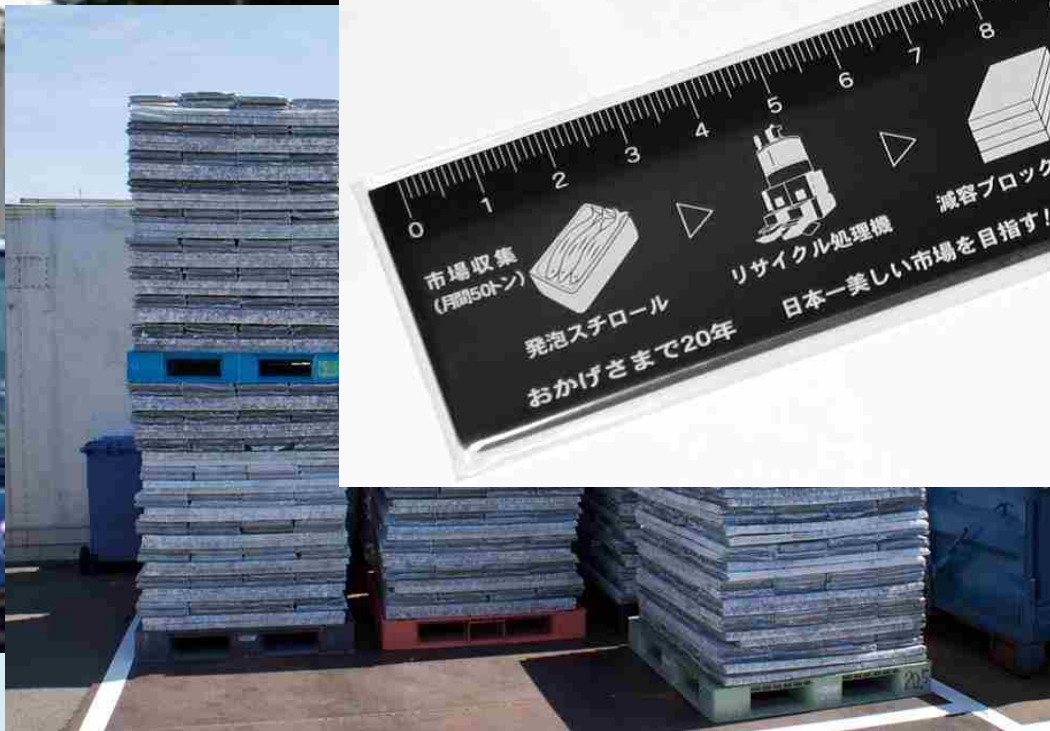


ビン・缶・ペットボトルの分別



発泡スチロールは熱処理して再資源化へ

リサイクル再生品



廃食用油の回収・処理し、燃料化へ



紙類分別・回収により オリジナル再生トイレットペーパーの商品化



野菜くずや商品価値を失った果物から
製造した堆肥を使って土づくりをし、
ごみ捨て場だった公園を緑豊かな公園へ

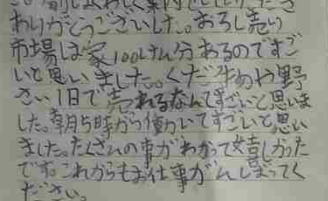


国内外からの視察・見学の受け入れ

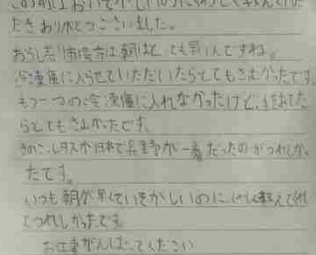
(国際協力機構(JICA)や長野市内の小学生等)

小学生より市場見学のお礼

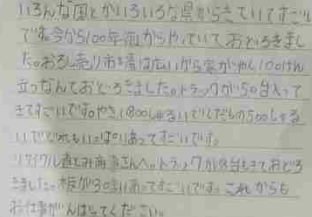
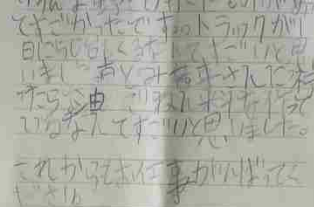




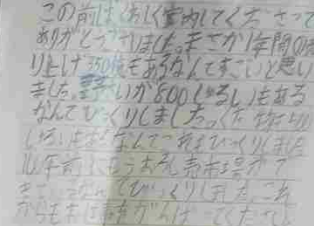
今村康太郎



四、五、六



3年 山木科の花



おろし 売市場のみなさまへ



長沼小学校3年1組



おろし竜市場のみな様へ
 の前日はかき氷の時間になりました
 7:30
 夏にクーラーをつけて涼しく過ご
 したての夏、かんぱんは、おどろし
 かんぱん
 おどろし、おどろし、おどろし
 かんぱん、かんぱん、かんぱん
 おどろし、おどろし、おどろし
 かんぱん、かんぱん、かんぱん

[illegible][illegible][illegible]

3. 活動の問題点

「ながのエコ・サークル」への参加を決めた時点では、当市場は5社のごみ処理回収業者が入っていました。そのために市場内から排出されるごみの種類や総量すら把握出来ない状況にありました。



1社に集約することによって、量の把握や分別・回収がスムーズにおこなわれるだろうと判断

1社に集約したことが今日の成果の最大の要因だと思います。

一方で当市場は協同組合であり、市場運営協議会などで決定しても、個々の企業によっては総論賛成各論反対という場合もあり、個別のルールを徹底させるのには多くの時間を要しました。

4. 活動の成果

市場全体に意識が浸透するにしたい、ごみの減量とリサイクル率向上が順調に推移し、その結果、平成 16年 12月 15日に長野市より「ながのエコ・サークル」シルバーランクの認定を長野卸売市場協同組合(72社)が取得しました。

当時のリサイクル率はまだ 40%に達していませんでしたが、単一事業所ではない 72社の集合体として認定されたことは大きな自信となりました。

その後さらなる努力と工夫で、平成24年にはリサイクル率が80%に達し、平成 25年 4月 23日ついに念願の「**ながのエコ・サークル**」**ゴールドランク認定**に至りました。「ながのエコ・サークル」に挑戦をはじめて、ちょうど 10年。また、当市場開設 25年にあたり、私たち長野市場はこの状態を維持し、さらなる数値向上を目指していきます。

「ながのエコ・サークル」 ゴールドランク認定書

ながのエコ・サークル



長野卸売市場協同組合 様

地球環境保全のために、ごみの減量とリサイクルを積極的に推進している事業所として ながのエコ・サークル ゴールド・ランクに認定します。

平成25年 4月23日

長野市長 鷺澤正一



長野市ごみ減量・リサイクル推進事業所

ながのエコ・サークル

ゴールド・ランク認定

長野市

▲「ながのエコ・サークル」
ゴールドランク認定ステッカー

廃棄物処理量とリサイクル率の推移

年数	可燃物排出量(焼却)	リサイクル率
平成 15年	2,267,930kg	30%
平成 16年	1,402,022kg	39%
平成 17年	1,077,689kg	45%
平成 18年	878,537kg	48%
平成 19年	654,083kg	54%
平成 20年	704,605kg	59%
平成 21年	635,616kg	64%
平成 22年	623,151kg	69%
平成 23年	689,275kg	76%
平成 24年	681,393kg	80%
平成 25年	708,148kg	80%
平成 26年	660,783kg	80%
平成 27年	628,019kg	81%

ごみの種類と処理

ごみの種類	処 理
可燃ごみ	長野市の清掃センターで焼却処理する
ビニール	再生プラスチック(ハンガー・バケツ・各種容器)または代替燃料として利用する
段ボール古紙新聞紙	品質によって、「段ボール」または「トイレットペーパー」に再加工される
缶ビン	各種金属の原料となる 建設中丸棒として利用
ペットボトル発泡スチロール	海外への原料輸出が主で「玩具」「衣料品」等になる
魚腸骨	飼料・肥料等に利用する
生ごみ	野菜・果物・パン・肉・米飯等は肥料及び飼料になる
その他	野菜・果物は「有機堆肥」の材料として利用。 不燃ごみ(廃油・金属・管球・乾電池)は燃料、 水銀、ペンキ、ガラス原料として再利用する

再生品利用の促進

① 紙類分別による再生紙トイレトペーパー還元

紙類を 3種類に分別することによりトイレトペーパーを還元します。

単位: 個

	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
トイレトペーパー	272	744	941	1,052	1,319	1,455	1,505	1,942	2,274	2,036	2,307	2,685

② エコ・マーク品(コピー用紙)共同購入

単位: ケース

	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
A3	5	3	10	29	14	13	20	19	33	57	48	46
A4	53	247	316	383	272	233	491	615	843	1,281	1,248	1,294
B4	16	45	53	54	43	28	68	78	95	133	113	105
B5	35	112	127	125	106	116	185	224	249	236	206	278

③ エコ・マーク品(トイレトペーパー)共同購入

単位: ケース *

	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年
トイレトペーパー	5	17	16	25	29	31	49	98	202	301	335	0

*トイレトペーパー 1ケース=100個

④ オリジナル再生トイレトペーパー(長野市場ロール)

単位: ケース

	平成 27年
再生トイレトペーパー	522

取組事業のさらなる進化

●再生紙の利用拡大

日本国内にとどまらず森林の伐採が深刻な環境破壊を招いていることはご承知の通りですが、環境破壊に端を発して異常気象や、海洋資源の乱れなどは結局食物の生産に著しい影響を与えるわけで、食品を扱う市場の仕事とも直結している事象です。地球規模から見れば微小な活動ですが、これは新聞紙や段ボール、コピー用紙などのリサイクルに取り組んできたこともあって、今後もコピー用紙やトイレットペーパーの再生紙の使用拡大を図っていきます。

平成27年にオリジナルの再生トイレットペーパー「長野市場ロール」の開発・商品化ができ、52,000個以上使用しております。



●太陽光エネルギー利用の推進

平成 25年度に実験的にソーラーパネルを設置し、ノウハウを重ねた上で本格的に導入を始めており、今後も導入していく予定です。

市場の広大な敷地を考えれば、少なくとも各建物の屋根にソーラーパネルを設置して発電を行うことは、大変理にかなっており、CO₂削減にも大きく寄与できます。

●花が咲く美しい市場へ

従来はごみ捨て場となっていた公園を花と緑の公園にしようと、平成18年より市場全体で取り組み、商品価値を失った果物や野菜くずから製造した堆肥を使って圃場を作り、今では季節の花が咲く緑豊かな公園へと生まれ変わりました。

今後は、育てた花を鉢植えにして、各企業の玄関先に飾る「場内花いっぱい運動」を展開していきます。



「日本一美しい市場」の実現に向けて

「ながのエコ・サークル」ゴールドランク認定を機に、今までに増して市場一丸となって環境事業（ごみ減量・リサイクル・環境保全・啓発活動等）に積極的に取り組み、リサイクル率85%の目標に向けて、強化を図っています。

その柱は現在進めている 18の事業をベースにしながら、状況変化に対応した新たな事業を加味しつつ、みんなの手で実行・実践し、「日本一美しい市場」の実現に向けて、今後も奮戦・努力していきます。

ご清聴ありがとうございました



長野地方卸売市場
長野卸売市場協同組合